年間授業計画　様式例

高等学校 令和５年度（２学年用） 教科　　芸術　　科目 工芸Ⅰ

教　科：　芸術　　科　目：　工芸Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　1 組～　5 組

教科担当者：（１組：　瀧島　）（２組：　瀧島　）（３組：　瀧島　）（４組：　瀧島　）（５組：　瀧島　）

使用教科書：（ 日本文教出版　工芸Ⅰ　　）

教科　芸術　　の目標：

【知識及び技能】作品を制作するための基礎的・基本的な知識を身につけ、道具の使い方や材料の知識を使って技術的な表現や自己の心や思い描いた適切な表現ができている。

【思考力、判断力、表現力等】使用する素材や道具を身に付けた知識や技能を使い、どのようにすればよいかを自らの力で判断し、表現することができる。

【学びに向かう力、人間性等】基礎的・基本的な知識や技能を学び生涯にわたり工芸を愛好する心情や豊かな感性が育めるように、制作する作品を多角的にとらえ、知識・技能と感性を強く結びつけた表現ができる。

科目　工芸Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
作品を制作するための基礎的・基本的な知識を身につけ、道具の使い方や材料の知識を使って技術的な表現や自己の心や思い描いた適切な表現ができている。	使用する素材や道具を身に付けた知識や技能を使い、どのようにすればよいかを自らの力で判断し、表現することができる。	基礎的・基本的な知識や技能を学び生涯にわたり工芸を愛好する心情や豊かな感性が育めるように、制作する作品を多角的にとらえ、知識・技能と感性を強く結びつけた表現ができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
			彫・絵	デ	映						
1学期	A 単元 【知識及び技能】 制作道具を安全に使用し、教わった内容を的確に表現する 【思考力、判断力、表現力等】 素材の特徴を理解し、イメージを膨らませ表現する 【学びに向かう力、人間性等】 造形表現に関して、自らの意見だけではなく友人とコミュニケーションを取りながら制作に反映させていく	＜木　彫＞ ・ハンドスカルプチュア （バルサ材）	○	○		○	【知識・技能】 制作道具を安全に使用し、教わった内容を的確に表現することができる 【思考・判断・表現】 素材の特徴を生かし、自らイメージした事柄を表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 うまく造形表現ができなくてもあきらめずに仲間と相談しながら制作に取り組むことができる	○	○	○	20
	B 単元 【知識及び技能】 根付についての理解を深め、粘土の持つ特性を作品に反映させる 【思考力、判断力、表現力等】 形状及び制作意図を意識した作品の制作 【学びに向かう力、人間性等】 様々な道具を工夫して使用し、個性豊かな作品を制作する	＜陶　芸＞ ・根付制作 （オーブン粘土）	○			○	【知識・技能】 根付とは何であるかということを理解し、粘土を使用した表現方法を身につけることができる 【思考・判断・表現】 制作意図を意識し、形や大きさを考えながら制作することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 道具を工夫して活用し丁寧な作品作りを率先して行う	○	○	○	6
2学期	C 単元 【知識及び技能】 金属加工について調べどのような技法を用いて制作たのかを調べる 【思考力、判断力、表現力等】 型作りから金属へどのようにつなげるか、完成形を想像し制作する 【学びに向かう力、人間性等】 美しい造形となるように様々な作品を鑑賞・比較し、表現方法に違いがあることを知る	＜彫　金＞ ・指輪制作	○	○	○	○	【知識・技能】 金属加工について調べどのような技法を用いて制作たのかを調べ作品に生かすことができる 【思考・判断・表現】 型作りから金属へどのようにつなげるか、完成形を想像し制作することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 美しい造形となるように様々な作品を鑑賞・比較し、表現方法に違いがあることを知り積極的に取り入れることができる	○	○	○	28
3学期	D 単元 【知識及び技能】 さまざまな形状の材料を組み合わせることで複雑な形を制作する 【思考力、判断力、表現力等】 何を組み合わせ、どのように切断や接着すると良いかを判断し作品が完成できるようにする 【学びに向かう力、人間性等】 組み合わせにより色々な形になることを踏まえ、よりよい作品となるように考え作品に反映させていく	＜木材加工＞ ・廃材等から立体作品制作 （おもちゃ）	○	○		○	【知識・技能】 さまざまな形状の材料を組み合わせることで複雑な形を制作することができる 【思考・判断・表現】 制作テーマを決め、どのように組み合わせると良いかを判断し作品が完成できる 【主体的に学習に取り組む態度】 組み合わせにより色々な形になることを踏理解し、よりよい作品となるように考え作品に反映させることができる	○	○	○	16
											合計 70